

研修参加希望の皆様は、以下の事項をお読み頂いた上お申し込み下さい。

【申し込み要件】

全講座の申込み資格	東京都医療社会事業協会の会員となります。 <u>会費未納者は会費納入後にお申し込み下さい(会費未納者は受講できません)</u> 。また、学生会員は受講できません。
新人研修	一部、東京都の受託事業(東京都から研修費が出ています)となっているため、 <u>応募者多数の場合は正会員(都内会員)を優先とさせていただきます</u> 。
グループ スーパービジョン (A・B・C・D)	各グループスーパービジョンの受講者には成果編集として、全研修終了後、報告書(レポート)を提出して頂きます。 東京都で冊子にして発行予定です。書き方については最後のページを参照して下さい。

※開始時間を厳守し、講師や他の受講者の迷惑とならないよう配慮して下さい。全回出席できることが申し込みの基本条件となります。やむを得ない事情で欠席する際は各研修担当理事もしくは他の参加者に連絡して下さい。

※受講者は、連絡できる携帯電話番号・メールアドレスを事前に登録していただきます。

【申し込み方法】

新人研修	①協会事務所へ新人研修担当者宛として簡易書留で講座申込書を郵送して下さい。また、 <u>返信用の封筒もお忘れなく同封して下さい</u> (申し込み者の住所、氏名等、宛先を記入の上)。FAX、メール等での申し込みは出来ません。期間内で受付し、申込者多数の場合は担当者による抽選となります。 <u>詳しくは受講案内詳細(P3)をご覧ください</u> 。 ②協会会員であることが必須条件です。平成28年5月14日の理事会承認が得られた方までが対象になります。
新人研修 以外の講座	①講座案内をご覧頂き、協会事務所へ各研修担当者宛に講座申込書を FAX でお申し込み下さい。 ②講座ごとに受付期間が異なりますので、各講座案内を確認の上お申し込み下さい。応募者多数の場合は先着順かつ初受講者を優先とします。

【注意事項その他】

※一つのグループに偏りがある場合は、教育部で調整させて頂く事があります。予めご了承下さい。

※参加者が定員に満たない場合は追加募集を行う事もあります。

※多くの会員が受講できるように、グループスーパービジョンに限り1人1講座の申し込みとさせていただきます。

※参加した講座で予定外の講義や合宿などを行う場合の費用は、全て自己負担となります。

※途中、講師などの事情により、講師や会場・日時の変更をする場合もあります。

※今年度の新人研修の受講生は来年度の新人研修の運営のお手伝い(概ね1回/年)をして頂きます。また、毎回、宿題として前回の感想を提出して頂きます。

※新人研修以外にも「講座」を4回計画しております。

※グループスーパービジョンは、「日本医療社会福祉協会」の「認定医療社会福祉士」ポイント申請ができる講座です。

※今年度は「SV養成講座(6月～翌2月 計8回)」、連続講座「外国人支援のためのソーシャルワーク(6月～9月 計4回)」、「中堅者研修(10～2月 計5回)」を開催いたします。後期につきましては、開催時期が近くなりましたら、再度、ご案内致しますので奮ってご参加下さい。

平成28年4月16日
事務連絡


会員各位

(一社) 東京都医療社会事業協会
教育部

平成28年度研修会ご案内の訂正について

時下、ますますご清祥のことと存じ上げます。

この度会員の皆さまへお送りしました【平成28年度研修会ご案内】ですが、一部内容に誤りがございました。正しくは下記の通りです。皆さまには、お詫び申し上げますとともに、恐れ入りますがご確認のほどよろしくお願いいたします。

P 1 【申し込み方法】 新人研修		
(誤)		(正)
② 協会員であることが必須条件です。平成28年5月21日の理事会承認が得られた方までが対象になります。		② 協会員であることが必須条件です。平成28年5月 <u>14日</u> の理事会承認が得られた方までが対象になります。

【担当】

(一社) 東京都医療社会事業協会
教育部

電話：03-5944-8912

平成28年度 研修会予定一覧

研修名	講師	会場	定員	詳細(日程他)
新人研修会	協会依頼の講師	別紙参照	40名(通年) 20名(集中)	P 3~6、11、17
◎グループスーパービジョンA	古屋 龍太 先生 (日本社会事業大学)	東京芸術劇場 会議室 (JR池袋駅西口徒歩3分)	9名	P 7、11、16、17
◎グループスーパービジョンB	石井 三智子 先生 (明治学院大学 非常勤)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	9名	P 8、11、16、17
◎グループスーパービジョンC	朝比奈 朋子 先生 (東京成徳大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	9名	P 9、12、16、17
◎グループスーパービジョンD	助川 征雄 先生 (聖学院大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	9名	P 10、12、16、17
スーパーバイザー養成講座	福山 和女 先生 (ルーテル学院大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	12名	P12、13、17
外国人支援のための ソーシャルワーク	協会依頼の講師	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	20名	P14、17
中堅者研修 ～ 後輩をもつ あなたへ ～	協会依頼の講師	詳細につきましては、7月下旬ごろにご案内いたします。		P15

※各受講案内をご覧になった上で、お申し込み下さい。

※◎印の講座は、公益社団法人日本医療社会福祉協会の認定医療社会福祉士のポイント認定講座です。

研修会実施期間

開催予定月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		研修名											
新人研修会	(通年)												
	(集中)												
グループスーパービジョンA													
グループスーパービジョンB													
グループスーパービジョンC													
グループスーパービジョンD													
スーパーバイザー養成講座													
外国人支援													
中堅者向け研修													

受 講 案 内 詳 細

新人研修（通年）

講 師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会 場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）
対 象 者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です。
定 員	40名
費 用	¥26,000（消費税込） 一部東京都受託事業 申し込み受付時に振込用紙を返送（開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい）

新人研修（集中）

講 師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会 場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）、 飯田橋レインボービル1階A会議室（JR飯田橋駅西口徒歩5分）
対 象 者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です。
定 員	20名
費 用	¥17,000（消費税込） 一部東京都受託事業 申し込み受付時に振込用紙を返送（開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい）

※特別講義は通年・集中とも合同で行います。それ以外の講義日程は通年・集中で分かれます。

申し込み方法(通年・集中)

受付期間：平成28年4月25日（月）～5月12日（木）当日消印有効

申込方法：下記2点を簡易書留郵送にてお申込下さい。

①別紙の講座申込書

②返信用封筒ーサイズ長3（A4三ツ折が入る大きさ）に82円切手を貼り、宛先（申込者の住所、氏名等）を記入する

申込受付：基本的に簡易書留郵送にて上記期間内で受け付けますが、応募者多数により受講頂けない場合があります。万が一受講頂けない場合は、担当者から申し込み者へ直接ご連絡させていただきますのでご了承下さい。また、指定の方法以外での申し込みは原則受付できませんのでご注意下さい。

受付住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-11 福祉財団ビル5F
一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部 新人研修担当者迄

受講費用：受講申込期間終了後、受講決定者には研修費用の振込用紙等ご案内を同封頂いた返信用封筒で郵送致しますので、振込みを5月27（金）までに完了して下さい。また、開講日当日には振込みの控えもしくはコピーをお持ち下さい。

申し込みに関するお問い合わせ先（メールでお願いします）

東京都保健医療公社 荏原病院
地域医療連携室 医療相談係 大宮 謙一
E-mail：kenichi_oomiya@tokyo-hmt.jp
TEL：03-5734-8000（代）

平成28年度 新人研修開催日程（通年）詳細案内

※講師敬称略

開催（日・時間）		内 容		講 師	会 場
6月	3日	特別講義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭クラブ会館
	17日		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー	
7月	1日	組織理解	(1) オリエンテーション・自己紹介	至誠会第二病院 樋口 昌彦	
	15日		(2) SWの機能と役割		
	29日		(3) 病院組織内の医療相談室 チームワーク		
8月	19日		(4) SWの業務の範囲と責任	都立広尾病院 大沼 扶美江	
	2日		(5) 地域内諸機関との協働		
9月	16日		(6) 組織理解まとめ		
	30日	特別講義	③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子	
	10月		14日	④ 社会保障Ⅰ（年金、医療保険など）	
28日			⑤ 社会保障Ⅱ（高齢、障がいなど）	順天堂大学医学部附属 練馬病院 柴田 礼子	
11月	11日	⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾		
	22日	個別援助技術	(1) この研修でめざすもの・コミュニケーション	武蔵野大学 小松 美智子	
12月	6日		(2) 理解的態度・共感的態度		
	20日		(3) インテーク（スクリーニング）		
1月	10日		(4) インテークとアセスメント		
	24日		(5) アセスメントと支援計画		
2月	7日		(6) アセスメントと支援計画（実践的判断）		
	21日		(7) 業務改善		
3月	7日		(8) 個別援助技術まとめと振り返り 修了式		

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。（参加費別途徴収）

※勤務先、連絡先等変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内：家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6

平成28年度 新人研修開催日程（集中）詳細案内

※講師敬称略

開催（日・時間）			内 容（特別講義）	講 師	会 場
6月	3日	19時から	特別講義 ① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭クラブ会館
	17日	21時		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	
9月	17日	9時から 17時	組 織 理 解	至誠会第二病院 樋口 昌彦	飯田橋レインボービル1階A会議室
	30日			③ 病気とソーシャルワーク	
10月	14日	19時から 21時	特別講義	④ 社会保障Ⅰ (年金、医療保険など)	家庭クラブ会館
	28日			⑤ 社会保障Ⅱ (高齢、障がいなど)	
11月	11日		⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾	
12月	17日	9時から 17時	個 別 援 助 技 術 ～修了式～	武蔵野大学 小松 美智子	家庭クラブ会館

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。（参加費別途徴収）

※勤務先、連絡先等の変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内： 家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6
飯田橋レインボービル 東京都新宿区市谷船河原町11番地

新人研修講座概要

<講師>

特別講義：田上 明会長
武内 昶篤副会長
平岡 久仁子 先生（帝京平成大学）
山下 律子 先生（ゆいまーる障害年金社労士の会）
柴田 礼子 先生（順天堂大学医学部附属練馬病院）
小嶋 章吾先生（国際医療福祉大学）
その他、現任ソーシャルワーカー

組織理解：樋口 昌彦 先生（至誠会第二病院）
大沼 扶美江 先生（東京都立広尾病院）

個別援助技術：小松 美智子 先生（武蔵野大学）

新人研修は内容としては特別講義、組織理解、個別援助技術の3部構成、研修体系としては通年・集中の2コースに分かれています。

<内容>

特別講義（全6回）は通年・集中両方の参加者全員に受講して頂きます。新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

組織理解は組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

個別援助技術は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかに行い、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにはどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

<研修体系（通年コース・集中コース）>

通年コースは、概ね月2回（スケジュール上1または3回の場合有）実施します。特別講義6回、組織理解6回、個別援助技術8回の全20回開催予定です。一年間、じっくりソーシャルワーカーとしての基礎を学べるコースです。

集中コースは、通年コースでは回数が多いので業務上参加が難しいという方の為に、特別講義6回は変わりませんが、組織理解と個別援助技術を各1日でコンパクトにまとめて学べるようにし、全8回開催予定としたものです。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンA

講師 古屋 龍太先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			22日	27日	24日	28日	26日	16日	21日	25日	22日	22日
開催時間 曜日	18時45分～20時45分 第3または第4水曜日開催											
会場 対象者	東京芸術劇場 会議室 (JR池袋駅西口徒歩3分) 経験年数1年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、申し込み時に申し出てください。ただし、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行しません											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成28年5月12日(木)必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX でお申込みください。(メール不可)											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

古屋龍太先生より

臨床現場で目の前の患者さんやご家族と向き合う時、ソーシャルワーカー (SW) は色々なジレンマやコンフリクトを抱え込みがちです。ともすればクライアント (CL) 側の「問題」と専門職が判断しがちな事柄が、実は SW 側に投げかけられている課題を表していることもあります。SW が、CL にとって最良の選択肢をと願ってはいても、自職場の中でできることとできないこともあるでしょう。時に、自身の面接力量や支援技術の貧しさに情けなくなり、自職場の多職種チーム内における自身の立ち位置の課題に直面せざるを得ないこともあるでしょう。自身の行為が本当に SW のかかわりとして適切であったか、他者の目を通して評価してもらわねば、下手をすると忙しい日々の中の業務として通り過ぎてしまい、身勝手な持論が形成されることになりかねません。

私たちの臨床現場での営みは、ミクロな支援のかかわり方を中心としつつ、SW としての自職場におけるポジショニング、病院内における他職種とのかかわり、地域の関係機関との関係など、同心円状に広がっていきます。今回担当するグループスーパービジョンでは、参加者の直面する (した) 事例を通して、一人ひとりの SW としての価値と視座を再確認することを大切にしたいと思います。そして、現場のもやもやを抱え込むことなく、自身のメゾレベルの周辺環境をどのように変えていくことができるか、その方法を受講生とご一緒に考えていければと願っています。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンB

講師 石井 三智子先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日		26日	23日	28日	25日	29日	27日	24日	15日	26日	23日	
開催時間	19時00分～21時00分 第4木曜日開催（9月は第5木曜日・12月は第3木曜日）											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分） 経験年数1年以上5年未満の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、申し込み時に申し出てください。ただし、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行しません。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成28年5月12日（木）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込みください。（メール不可） 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F											
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

石井 三智子先生より

年間テーマは、昨年度の「変革」を引き継ぎ、「変革とその持続」としたいと思えます。日々の実践をふりかえりつつ、自らが変わっていくこと、成長していくことと、事例を通じて対面する社会・制度の矛盾や理不尽さをどう変えていくかという二つの側面を意味します。仕事の終了後、疲れた体でかけつけることでしょうか。事例を終えた後に残るひっかかりや不安全感、退院支援に関わる時間との闘い等々、仲間同士で行う事例検討において、今年度は特に「アセスメント」に焦点をあてたいと思えます。アセスメント面接の目的は、メンバーが所属している医療機関や施設で期待されている機能や役割によって、また実施時期によって異なり、修正が必要な時もある

ります。クライアントや家族から引き出す情報の範囲や深さについても異なりがあるかもしれませんが、状況理解、人間理解という点においては共通したものがあります。スーパービジョンの方法としてはピアグループ的なものをイメージしています。毎月提出される事例をメンバーによる複数の眼で見えていくことによって、新しい視点や支援策の発見があることでしょうか。ソーシャルワークの支援過程についての内省を経た洞察、考察につながることで期待します。下記に示す参考文献は、初回に用意していただく必要はありませんが主要文献は、相談の上、決めたいと思えます。適宜、新しいものを紹介する予定です。

参考文献：

- ① 渡部律子「基礎から学ぶ事例検討会」中央法規 2007
- ② 小熊英二「社会を変えるには」講談社現代新書 講談社 2012
- ③ 小熊英二「生きて帰ってきた男」～ある日本兵の戦争と戦後～岩波新書 岩波書店 2015
- ④ 浮ヶ谷幸代編「苦悩とケアの人類学」～サファリングは創造性の源泉になりうるか～
世界思想社 2015
- ⑤ 猪飼周平「病院の世紀の理論」有斐閣 2010

受講案内詳細

グループスーパービジョンC

講師 朝比奈 朋子先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			13日	11日	8日	12日	17日	14日	12日	16日	13日	13日
開催時間	18時30分～20時30分 第2または第3月曜日開催											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR 新宿駅南口徒歩8分） 経験年数2年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、申し込み時に申し出てください。ただし、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行しません。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成28年度5月12日（木）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX でお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

朝比奈 朋子先生より

ソーシャルワーカーとしてすべきことが見えてきた。患者・家族との面接もスムーズにできるようになった。院内の他職種との連携や他機関との連携もできている。・・・気がしているのに、退院支援が「うまく」いかないことがある。自分の行った支援が「よかったのか」不全感が残るものの、何を振り返ればいいのかわからない。患者・家族の生活状況がよく「わからない」まま支援を行っている気がする・・・。そのような経験をしていて、それを何とか変えたいと思っている方々へ。ソーシャルワークの基本に戻り、クライアントの生活を丁寧に理解する・「まるごと」把握することから始めてみませんか。

このグループの目的は、「すっきりしない」自身のソーシャルワークを、クライアントの生活を理解する視点と力を身につけることで専門職としての自信を持ち、患者・家族に共感的理解を持って支援にあたることができるようにすることです。

研修ではわたしたちの生活のしくみを理解した上で、「生活アセスメントシート」に記入した事例を持ち寄り、グループで共有することで最終的に各自が生活を理解する視点を持つことを目標にします。「クライアントの生活を見る」＝「クライアントが見える」。1年間の研修を通してそのような経験を積み重ねることで、明日からの自身のソーシャルワークが変わる！はずですよ。

参考文献：生活アセスメント研究会編集『福祉・介護に求められる生活アセスメント』中央法規 2007

*参考文献はあくまでも参考です。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンD

講師 助川 征雄 先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			17日	15日	19日	16日	21日	18日	16日	20日	17日	17日
開催時間 曜日	19時00分～21時00分 第3金曜日開催											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）第5会議室 経験年数4年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、申し込み時に申し出てください。ただし、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行しません											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成28年5月12日（木）必着</u>											
申込方法 申込先	講座申込書に記入し、下記宛に FAX でお申し込みください。（メール不可） 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

助川 征雄先生より

この GSV では、「クライアントとどのような関わりを持つか」という課題について、討議、検討することを目指します。それらを通じて、近年の社会情勢の激変の中で、クライアントが直面している医療や貧困問題をはじめとする様々な困難を再認識し、皆さまのソーシャルワークのさらなる充実を目指したいと思います。

近年の社会経済情勢の激変は、医療や保健福祉ニーズの増大と多様化をもたらしています。それらに対応する行政政策や専門援助は多岐にわたり、現場では、さらなる負担を余儀なくされています。また、今後に向けては、「健康日本 21(第二次改訂)」にも示されているように、広く国民に「自助」を求め、専門援助面では、「入院・入所によるお世話型援助」から、「予防教育」や効率的な「訪問型援助」への転換を期するところとなってきています。

これらからは、クライアントの経験知や自力、さらには自己決定の尊重をベースとした援助視点や、シャープアップされたスキルをもって専門家がいかに関与できるかという「共創型の課題解決」が求められるのではないかと思います。

GSV は参加型（傾聴、共感および自己開示による）の自己啓発の場ということもできましよう。私も、これまでの学びをもとに、率直かつ柔軟にこの場に臨み、未来への希望を共有したいと期待しています。

なお、この GSV の参加者は9名程度とし、毎回順番に1事例を提出していただき、次の事例提出者に司会進行をお願いしたいと思います。時間配分は、事例報告に40分程度、その後、約1時間余自由討議をお願いしたいと思います。事例発表にあたっては、原則として、クライアントの了解をえ、資料表記は匿名でお願いします。

また、下記参考文献の★「ふたりぼっち」を読んだ上で GSV へご参加ください。

（参考文献）

柏木昭、佐々木敏明；ソーシャルワーク協働の思想：へるす出版・2010

助川征雄；（福祉の現場で役に立つ）スーパービジョンの本：河出書房・2012

柏木昭、助川征雄ほか；人間福祉スーパービジョン：聖学院大学出版会・2012

★助川征雄；ふたりぼっち（精神科ソーシャルワーカーからの手紙 ～新書）・万葉舎 2015

昨年度の受講者の声より

新人研修

- ◆ 経験年数の近い仲間に出会い日々の思いを共有でき、また MSW としての知識や技術を身につけることができ、とても有意義な一年になりました。
- ◆ 研修を受ける前までは、患者さんや家族の話を面接で聞くことはできていても、相手の感情であったり、思いを MSW が感じ取りそれを相手に伝え、話しをしてもらえるような面接がまだまだできていないことに気づけ、今後はそうしたところに意識していきたいと思いました。
- ◆ グループワークで他の SW の方の意見を聞くことや話し合えることが新鮮でした。視野も広がり、勇気づけられることも多々ありました。有意義な時間をありがとうございました。今回できた「繋がり」を大事に、日々の業務をより良いものにできたらと思います。

グループスーパービジョンA

- ◆ 他のソーシャルワーカーから客観的にみた視点を教えてもらえるので、自分だけの振り返りでは、想像できないようなことに気づくことが出来、今後の支援の糧になりました。また、出会った人々と仲間になることが自分の支えとなり、業務に打ち込むことができました。
- ◆ 事例を提出し、アドバイスをいただいたことで、考え方の幅や視野が広がりました。ネガティブにとらえがちだったこともプラスに考えると見方が全く異なってくることを学びました。
- ◆ SW としての援助基盤を改めてご指導頂いたような感じを受け、非常に貴重な機会だった。

グループスーパービジョンB

- ◆ 先生の経験や幅広い知識で、国籍による性格の違い・クライアントの生きてきた年代による考え方の違い等、自らの視点を増やすことができました。意見を出しやすい雰囲気の中で楽しく学ぶことができました。
- ◆ 事例に対しての振り返りの際、ソーシャルワークの根拠となる資料と共にご説明下さり本当に勉強になりました。なかなか自身で一つのケースに対し「どのような根拠で・技法で」と振り返る事にも限界があり、この研修を通して振り返る事もできましたし、こういった事を学び続けていく大切さを改めて感じました。
- ◆ 日々の実践をふりかえり、自分が行った支援とは何だったのかということを実論的に考えなおし、深めることができた時間でした。他の参加者の方から自分では気づかなかった視点で意見をいただくことで、学ばせていただくことも多くありました。

グループスーパービジョンC

- ◆事例検討を通じて自分の日々の患者さんに対する支援の振り返りができ、スーパーバイザーからの助言によって、そのケースを多面的にとらえることができました。また普段交流できない他のSWの方と交流ができ心強く感じました。
- ◆色々な方のケース内容やアセスメント方法、悩みなどがきけて勉強になりました。また、自分だけがケースに悩んでスムーズに支援ができなかったり迷ったりしているんじゃないんだと思い、少し安心しました。みんなでケースについて話し合うことができ、色々な視点の話がきけて良かった。
- ◆支援結果を前向きに受け止め直すことができた。

グループスーパービジョンD

- ◆毎月提出される事例のあまりの困難さに言葉を失うほどなのですが、皆さまの意見・感想を聞いていくうちに新たな発見があったり、これで良かったという安心を得ることが出来たりして、研修会の帰り道はいつも心が穏やかになります。川村先生の本質的・理論的な助言もとても楽しみです。機会があればまた受講させて頂きたいと思います。
- ◆様々な視点で事例を見ることができ、新たな気づきとなると共に、共感をすることにより、自身の自信へとつながりました。また、SWである限り葛藤は付き物であり、それがあるからこそSWなのだという事を改めて実感する事ができました。
- ◆最近問題が複雑化した困難ケースが増え、対応に困ることが多くあります。GSVでは事例をみる際に大切な視点を解説していただけるので、その都度自分自身の対応を振り返ることが出来ていると思います。

スーパーバイザー養成講座

- ◆スーパーバイザー養成講座ですが、スーパービジョンを教えてもらうということではなく、アセスメントについて深く学ぶ場でした。自分がアセスメントについて深く考えることができるようになると、他者へのスーパービジョンをする際に、ロジカルと一緒に考えていくことが出来るようになることにつながります。自我心理を用いて教えていくが多かったのですが、私ははじめ何故それを考えることが必要なのか理解できませんでした。しかしそこを考えていくことで、クライアントの取り組みが、これまで自分のソーシャルワークが直感や印象のみで妥当性を見出していまらなかったが、講座を受けてからは妥当性を考えることが出来るようになり、後輩への指導や多職種とのカンファレンスに少しずつ楽しさを感じられるようになってきました。

受講案内詳細

スーパーバイザー養成講座

講師 福山 和女先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			21日	19日		21日	18日	15日	20日	17日	21日	
開催時間	18時30分～20時30分 第3火曜日（9月のみ第3水曜日）開催											
会場	家庭クラブ会館（JR 新宿駅南口徒歩8分）											
対象者	経験年数5年以上の方											
定員	12名程度											
費用	16,000円											
申込期間	<u>平成28年5月12日（木）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX にてお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

福山 和女先生より

スーパーバイザー養成講座では、日ごろのスーパービジョン活動の中での疑問点・困難点、更にはできていることの妥当性を証明します。

最近では、新人養成も難しくなってきたようですが、スーパーバイザーである皆さんのやり方が問題なのではありません。むしろ、そのような現象が生じる社会の特徴ですので、スーパービジョンでは、その特徴をうまく活用していきましょう。

実際には、質の高いソーシャルワークが求められていることから、多職種との連携でも、「さすがソーシャルワーカーさんですね」と言われたいものですね。

部下の方への指導の仕方も、所属組織の特徴を加味して行うことが必要になるでしょう。

スーパービジョンの話し合いでは、所属組織の課題も取り上げることになりますが、情報開示の件は十分に考慮して行います。もちろん、秘密保持の原則を順守し、たとえば、「アメリカでは・・・」というように、話を加工して話し合うことも専門家にはできなければならないことですのでトレーニングも致します。また、組織の運営方針などには、干渉いたしませんので、ご安心くださいね。

ご一緒にスーパービジョンの醍醐味を味わっていきましょう。

【参考文献】

『ソーシャルワークのスーパービジョン』ミネルヴァ書房（2005年）

『統合的短期的ソーシャルワーク』金剛出版（2014年）

※参考文献は、事前にご用意ください。

受 講 案 内 詳 細

外国人支援のためのソーシャルワーク

	6月	7月	8月	9月
開催日	18日 中会議室	23日 第二会議室	20日 中会議室	17日 中会議室
開催時間	14時00分～17時00分 第3もしくは第4土曜日			
会場	家庭クラブ会館（JR 新宿駅南口徒歩8分） ※開催日により会場の会議室が異なります。上記、開催日の欄をお確かめのうえ来場ください。			
対象者	東京都医療社会事業協会会員で、かつ連続受講できる方。			
定員	20名程度			
費用	20,000円（税込）受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。			
申込期間	<u>平成28年5月12日（木）必着</u>			
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込みください。（メール不可）			
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745			

< 講座概要 >

外国人の相談支援において、ソーシャルワーカーとして知っておかなければならない知識や事例など各専門分野で活躍する講師の方から講義いただきます。全4回の講座です。内容に関しては、下記を参考ください。皆さまの参加をお待ちしております。

< 講座内容 >

【第1回】6月18日（土）

テーマ：外国人の生活課題とMSW（外国人の生活課題を深く理解する）

講師：特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク 理事 大川昭博氏

【第2回】7月23日（土）

テーマ：外国人と医療（MSWとしての支援や利用できる制度を学ぶ）

講師：東京医科大学病院 総合相談・支援センター SW 藤平輝明氏

【第3回】8月20日（土）

テーマ：外国人に関する法制度（外国人に関する法制度や関連する機関等について学ぶ）

講師：さつき法律事務所 代表弁護士 大貫憲介氏

【第4回】9月17日（土）

テーマ：支援の実際（事例検討のほか、MICの立ち上げ、社会資源開発の経緯について知る）

講師：横浜市菅田地域ケアプラザ SW 松野勝民氏

受 講 案 内 詳 細

中堅者研修 ～ 後輩を持つあなたへ ～

講師 現在調整中

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日							←	→				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">月1回の開催</div>											
開催日時	平成28年10月～平成29年2月 各月1回開催 時間 調整中											
会場 対象者 定員 費用 申込期間 申込方法 申込先	<p>現在調整中です。</p> <p><u>7月末ごろ詳細をお送りしますので、そちらでご確認下さい。</u></p>											

【講座の概要】

★前年度の会員アンケートの結果及び「中堅者の集い」を開催して挙がってきた意見を参考に、講座の内容を検討しました。今年度は、グループワークとディスカッションを中心とし、今まで以上に参加型の研修にすることができるようにと考えています。10月から2月までの各月1回ずつ計5回の開催です。内容は右記のようになっています。

現在、多くの会員の皆さんが参加できるように・よりよい講座となるように講師、日程、開催場所、開催時間を調整中です。7月末ごろ詳細が会員の皆さんのお手元に届く予定です。ぜひご確認いただいて、多くの方のご参加をお待ちしております。

講座内容

- 第1回 参加者の「悩み」や「思う事」を共有し、2回目以降の研修の土台を作る。
- 第2・3回 「後輩育成」
- 第4回 「理論」
- 第5回 「セルフコントロール」

各回ごとにテーマは決まっていますが、詳しい研修内容は第1回の研修時に参加者からでてきた内容を基に組み立てていく予定です。

グループスーパービジョン等における事例の記載方法

グループスーパービジョンは東京都の受託事業であり、受講者には必ず成果編集で事例を提出して頂きます。それは「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子として東京都がまとめて都庁都民情報ルームや図書館などで広く一般に出回るため、提出の際に様々な配慮が必要となります。そこで、東京都医療社会事業協会として記載方法を統一しました。

1. 基本的考え方

- ①個人情報保護の観点から、匿名性の表現には特に留意する。
- ②ソーシャルワーカー以外の読者にも分かりやすい表現を使うこと。

2. 事例の選び方

終了しているケースが望ましいが、グループの特性にもよるため、スーパーバイザーの指示に従う。事例を提出するにあたっては、基本的にクライアントの承諾を得て下さい。

3. 具体的な様式

(1) ページレイアウト

- ①形式 ワード形式 (Word)
- ②A4 1行41字、1ページ46行 (1ページ1800字程度) 全文で4枚以内に収める。
- ③余白 上・下・左・右 30mm
- ④字の大きさ 明朝体 大見出し (タイトル) : 14ポイント、本文 : 10.5ポイント

(2) 基本的項目

表題	(1) 事例提出理由 (2) 事例概要 (クライアントの基本情報) (3) 事例経過 (4) 考察 (5) グループスーパービジョンを受けて感じたこと及びまとめ ※グループでの事例検討の段階では所属と氏名を記載し最終提出の際は消す。 ※(1)～(5)以外の項目はスーパーバイザーの指示に従う。
表記	・人物や機関が特定されないように配慮し、「である体」で記す。 ・「病棟」の看護師、「外来」の看護師など分かり易く書く。 ・「～にTEL」などと略さず「～に電話を入れる」と書く。 ・発言は、「」を入れ、誰の発言か明確にする。 ・面接や面談は、どこで、誰と誰なのかが分かるように書く。 ・カンファレンスなども、参加者を分かるように書く。
人物	名前、イニシャルと関係なく、A氏、Bケアマネジャー、C医師等とする。
機関	名称と関係なく、A病院、B介護老人保健施設、C診療所等とする。又、在支、老健等と略さない。
地名	地名と関係なくA区、B区、C県等とする。区域の明示が必要な場合は、都内、都外、〇〇地方といった表現にする。
職業	個人が特定できるような職業の明記は避ける。
日時	19年1月1日＝〇年1月1日、20年2月1日＝〇+1年2月1日のように、経過の間隔は分かるようにして、出来るだけ特定しないようにする。
略語	G S V、M S W、D r、N s等指定されたもの以外はなるべく略語を使わずに明記する。略す場合、最初に「～医療ソーシャルワーカー (以下「M S W」という。)～」と示すこと。
家族図	図示する場合は、男性□、女性○、クライアント回・◎、死亡者■・●で表記する。クライアントと同居している家族を囲むと分かりやすい。
病名	基本的には略さず、日本語で明記する。

4. 原稿の提出

方法：Eメールに添付するなど担当者の指示に従い提出する。

期限：提出期限は基本的に次年度の4月末とするが、各研修の状況により期限が前後する場合もある。それまでの過程はスーパーバイザーの指示に従う。

※提出して頂いた原稿はお返し致しません。又、冊子の校正を進める段階で、場合により東京都の担当者が一部訂正・削除をすることもありますのでご了承下さい。

※受講時の事例の配布についても、同じように特定されないような配慮をし、事例提供者が最後に回収する等個人情報の保護に努めて下さい。

平成28年4月1日 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部

平成28年度 講座申込書

	講座名	コース選択等
<input type="checkbox"/>	新人研修	<input type="checkbox"/> 1. 通年コース ※通年コースが定員に達した場合、集中コースを希望しますか？ <input type="checkbox"/> 2. 集中コース (<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない)
<input type="checkbox"/>	グループ スーパービジョン	<input type="checkbox"/> A (受講歴があれば受講年度：H 年度) <input type="checkbox"/> B (受講歴があれば受講年度：H 年度) <input type="checkbox"/> C (受講歴があれば受講年度：H 年度) <input type="checkbox"/> D (受講歴があれば受講年度：H 年度) * 認定医療社会福祉士ポイント申請 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
<input type="checkbox"/>	スーパーバイザー養成講座	
<input type="checkbox"/>	外国人支援のためのソーシャルワーク	
申込 動機		
備考		

※希望する講座・コースの□にレ点のチェックを入れて下さい。

※申込動機も必ず記入して下さい。

※不明な点や質問等があれば、備考欄に記入して下さい。

※昨年度受講出来なかった講座：無し・有り（講座名）

申 込 者	フリガナ		性別	年齢	経験年数	
	氏名		男・女	歳	年 月	
	所 属 機 関	名称	部署			
		住所 〒 - (※郵便番号は必ず記入) 市・区	電話	-	-	
			FAX	-	-	
		Mail	@			
	緊急時連絡先	(携帯・自宅 - -)				
	Mail:	@				

※所属機関以外の個人情報を受講生名簿に掲載しません。また、受講申込等の管理と担当者からの連絡以外に使用することはありません。

※自宅会員の方は、自宅住所等を記入して下さい。

※緊急時連絡先は必ず記入して下さい。中止や変更時の連絡に使用します。

一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部